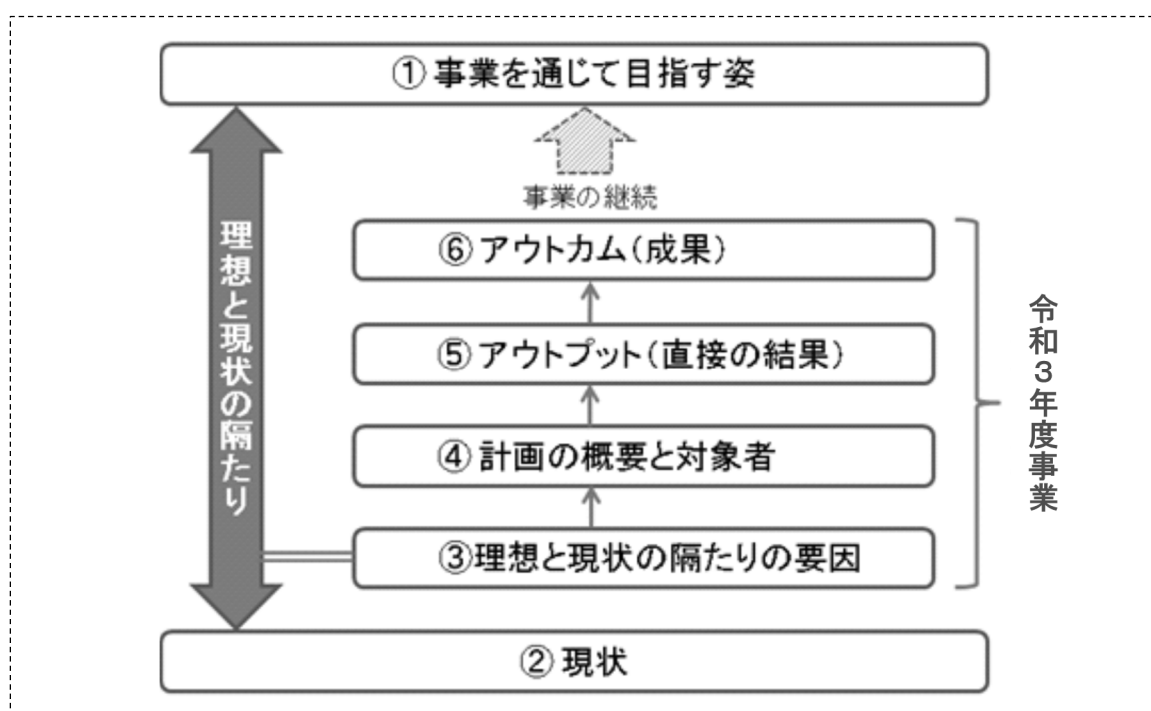


事業計画書

事業名	猫のレスキューを通して命の大切さを伝える『猫レスキュー活動』
団体名	倉敷猫まもりの会

記入する項目の関係図

次の図は、この事業計画書の各項目の関係を示したものです。以下、この図を意識しながら、各項目に記入する内容を検討してください。



1 目指す姿

事業を通じて目指す姿や、事業を実施する目的はどのようなものですか。「地域や社会、人のどんな問題を解決し、どのような状態にしたいのか」を具体的に記入してください。

現在活動中の保護猫譲渡事業の推進を積極的に行い、当会の理念である「倉敷市内で《誰も望んでいない猫の殺処分》をなくす仕組みを作ること」を目指します。

猫の飼い主や里親希望者への適切な飼育方法の指導、猫のボランティアを始める人を対象に飼育方法や譲渡希望者への譲渡の際の注意点を情報提供いたします。

前年度に引き続き倉敷市保健所との協働事業として、

『ねこ好きさんのための猫ねこセミナーin 倉敷』講座の開催。テーマは前年同様、猫の正しい飼育方法、健康に飼育するための知識、子猫を保護した方へのアドバイス、保護後のその地域の問題など、前回セミナーのアンケートからの問題解決など

『ミルクボランティア育成講座』も引き続き開催し、ボランティアの数を後5名増員し子猫の収容の多い時期に現在のボランティアにかかる負担を軽減し、長くボランティアを続けられるようにする

ボランティアのスキルアップを目的とした研修会を開催し、知識や情報の共有をすることで受け入れ枠を広げ、せっかく助かった命を確実に譲渡へと繋げていく

以上の活動を通じて、保健所への猫の持ち込み数の減少を目指し、保健所に収容された猫を殺処分することによる倉敷市全体のイメージダウン、市民の心理的負担、飼い猫・野良猫によるトラブルを減らし、人と猫が共存できる街づくりを目指します。

2 現状

上記 1 の目指す姿と比べて、現在はどのような状況にありますか。

R2 年度は、11 月現在で、保健所から引き出した子猫と一般市民から依頼された子猫の合計約 230 匹を保護しており、昨年度の同時期を上回っております。R2 年度の活動によりボランティアが増え、ミルクボランティアも含めボランティア数は 14 名となりました。これにより、当会以外のボランティアさんへの委託は昨年度 50 匹から今年度 11 匹と減り、当会だけでほとんどの子猫の保護と譲渡が可能になってきました。

しかし、時期によっては乳飲み子の収容が集中し、引出せる数に限度があります。

倉敷市保健所は基本、衰弱、傷病、自立捕食不可能な子猫を収容するので、当会で保健所よりレスキューした子猫も月齢が小さいことや健康状態が悪いことから、病院への通院頻度も多く、ボランティアのメンバーの経済的負担もかなり多くなってきています。

それと同時に会の活動を通じて、市民の方々から直接当会への子猫の保護依頼が多くなり、現在すべての案件に対応できる環境も整っておらず、解決にいたっていない状況です。

また、今年開催した講座にて野良猫問題を取り上げましたが、想像以上に近隣の猫問題があることや避妊去勢手術とその手術費の助成金についても関心が深いことがわかりました。この講座が、当会が取り組むべき野良猫問題に対する足掛かりになったと感じました。それとともに市民の方々へ、市の助成金についての啓発の必要性についても感じました。

昨年のボランティア募集で広報担当のメンバーも増え、SNS を使い保護猫の情報や物資の支援やご寄付のお願いを始めたところ、思った以上にご支援があり今後も継続して寄付等を募って行こうと思っています。当会から猫の里親になって下さった方からもご寄付、ご支援等も増えてきており、集まった寄付等は子猫の医療費として使わせて貰っています。

また、里親募集の方法としては、SNS で発信するとともに、毎月開催した譲渡会で猫の参加数に対しての譲渡の確率が高く、安定した譲渡ができていると感じています

3 目指す姿と現状の隔たりの要因

上記 1 と 2 の隔たりを生み出している主な原因はどのようなものと考えますか。

ミルクボランティアが不足する要因として、次のことが考えられる。

- ・猫の適正飼養に関する考えが、広く普及していないと考えられ、保健所や一般の方から収容する子猫の数が、いまだに多いこと。
- ・保健所ホームページでのミルクボランティアの募集は、一般の方の目に留まりづらく、また、保健所に問い合わせをしても、職員がミルクボランティアを継続して育成していくことがむずかしいと思われること。
- ・昨年度・今年度とミルクボランティア講習会を開催することで、ボランティアの数が増えた。しかし、乳飲みの猫は、3時間おきの授乳や、細やかな体調管理などが必要であり、個人への負担が大きく、またそのスキルアップの講習会がないことなどから、負担が解消されず、ボランティアを継続してくれる方が少ないこと。
- ・また、ミルクボランティアをはじめたい人への情報量が少なく、経済的負担として、ミルクや医療費、エサ代を多く負担しないといけないかもしれないといった不安や、預かった後に死んでしまうかもしれないといった不安などから、ボランティアになろうと思う人が少ないこと。

4 計画の概要と対象者 (令和 3 年度)

上記 3 で挙げた要因を取り除くため、どのような人を対象に、どのような活動を実施しますか。150 字以内で簡潔にまとめてください (計画の詳細は下記 7 に記入してください) 。

保健所における猫の殺処分をなくすために、

- ・ ミルクボランティアを育成するための講習会の実施
- ・ ミルクボランティアのスキルアップのための研修会
- ・ 定期的に譲渡会を実施
- ・ 保健所との協働による猫についての講座の開催
- ・ 参加されたボランティアさんへのアンケートの実施

アウトプット（直接の結果）とアウトカム（成果）について アウトプットとアウトカムの例

アウトプットとは 事業の直接の結果であり、事業を通じて、どれだけの人に対し、どのようなサービスが提供されたかをいいます。

アウトカムとは 事業の成果であり、アウトプットが地域や社会、人にもたらす変化や効果をいいます。事業はこのアウトカムを生み出せるように計画します。

アウトプットとアウトカムの関係

事業を実施すると、まず、 というアウトプットが生じ、次にその成果として、 というアウトカムが生じる関係にあります。

事業実施 アウトプット アウトカム

事業名	活動	アウトプット	アウトカム
学習支援事業	学習会の開催	月4回、各回20名参加	参加者の学習意欲の向上
就労支援事業	冊子作成・配布	1千冊作成、800人に配布	就労に必要な知識の習得
保護者支援事業	居場所の運営	週2回、各回15名参加	育児の負担感の緩和
移動支援事業	高齢者の送迎	週2回、各回5名利用	移動手段の選択肢の増加

5 アウトプット（直接の結果）

令和3年度の事業を通じて、どれだけの人に対し、どのようなサービスを提供しますか。

- ミルクボランティアを育成するための講習会の実施
- ミルクボランティアのスキルアップのための研修会
- 定期的に譲渡会を実施
- 保健所との協働事業による一般の方向けの猫についての講座の開催
- 参加されたボランティアさんへのアンケートの実施

アウトプットを測る指標と数値目標を記入してください。

指標	現状の数値	事業実施後の数値目標
講習会実施回数・参加人数	1回 / 25人	1回開催 / 15人
研修会実施回数・参加人数	0回	1回開催 / 10人
ミルクボランティア登録	10人	15人
譲渡会の開催回数	10回 / 30人	年10回 / 30人
講座の開催回数	1回 / 25人	1回 / 25人

(様式第 1 の別紙 1)

事業実施後の数値目標は、どのような方法で測りますか。

- 講習会への参加人数
- 研修会への参加人数
- 保健所との協働講座の参加人数
- 毎月の譲渡会への参加人数
- 令和 3 年度保護数及び譲渡数
- ミルクボランティア登録人数
- 殺処分の減少数

6 アウトカム (成果)

上記 5 のアウトプットが、令和 3 年度中に、地域や社会、人にもたらす変化や効果はどのようなものですか。

講習会の参加者に対して

- 現状を知ってもらう
- 年間 1 匹からでもミルクボランティアに参加してもらう
- アンケートを行い改善を図る
- 周りの知り合いに活動内容を広めてもらい、譲渡の推進を図る

研修会の参加者に対して

- ボランティアが幼猫の育成に必要な知識や経験を身に着ける
- スキルが上がることにより、保護数が増え安定的に飼養できる
- 子猫の病気の早期発見にも繋がり重篤になる子を減らすことができる

講座の参加者に対して

- 適切な飼育方法を学んでもらい、地域の猫トラブルを減らす
- 地域で猫についての問題を発見した場合の解決方法と自身で行ってもらうことを伝えて、より多くの人々が猫の問題について対処できるようになる
- 適切な飼育方法(室内飼育、避妊去勢の重要性)や、子猫、猫を保護した時、動物愛護に対して(虐待や法律など)を、講座にて伝える

譲渡数(前年対比)

一般譲渡することにより保護猫への認知を広めること

ボランティア参加人数(前年対比)

7 計画の詳細

(1) 具体的な内容

内容, 対象者, 実施期間, 実施場所, ねらいなど, できるだけ明確に記入してください。

ミルクボランティアを育成するための講習会の実施 (実技の指導含)

猫が好きで、ミルクボランティアに興味がある人を対象に講習会を開催する。

(生後 0 日 ~ 授乳中の子猫を対象、3 時間おきの授乳、飼育が可能な方)

- 現在の倉敷市保健所での猫の現状
- 適切な飼育方法を説明 (完全室内飼い、避妊・去勢の必要性)
- 猫の預かりからお世話の仕方、里親の見つけ方の説明
- 個別相談

ミルクボランティアのスキルアップのための講習会の実施 (実技指導含)

- 譲渡までの流れと注意点の説明
- 適切な飼育方法を説明
- 病気の症例や対応、病院にかかる時の注意点など周知する
- 必要な物品の配布
- 質疑応答、個別相談

猫についての講座の実施 (協働開催)

猫が好きあるいは猫の問題で悩んでいる人を対象に講座を開催する。

- 倉敷猫まもりの会について
- 近所の野良猫問題について
- お外で子猫を見つけてしまった場合の保護について
- 現在の倉敷市保健所での猫の現状 (保健所から)
- 野良猫避妊去勢手術助成金について (保健所から)
- 動物愛護法 等
- 質疑応答

譲渡会

- インターネット等で告知し、預かりボランティアさんと猫に参加していただき、里親探しと譲渡数の推進をはかる
- 来場された希望者にも、適正な飼育方法を案内し、猫を飼うことによる地域トラブルを防ぐ
- コロナ禍において人の密集を防ぐ為、会場での譲渡会は入場数を制限したり、オンライン譲渡会を開催したりする

ボランティアに対するアンケート実施

(様式第1の別紙1)

(2) スケジュール(準備～実施～報告)

4月	ミルクボランティアのスキルアップのための研修会の実施
5月	譲渡会の開催(オンライン)
6月	譲渡会の開催
7月	譲渡会の開催
8月	譲渡会の開催(オンライン)
9月	譲渡会の開催
10月	譲渡会の開催
11月	譲渡会の開催
12月	譲渡会の開催
1月	譲渡会の開催
2月	譲渡会の開催・猫についての講座(倉敷市保健所協働)
3月	ミルクボランティアを育成するための講習会の実施・報告会

(3) 実施体制

上記(1)の計画を実施するにあたり、実際に取り組む団体会員を記入してください。また、人件費を支払う予定の団体会員には、人件費欄に「有」を記入してください。

氏名	事業に有効な資格や経験	人件費
塩田陽子	野犬の保護や譲渡、猫の譲渡やTNR活動10年以上継続	有
平賀由美	猫の譲渡やTNR活動10年以上継続	有
戸張和子	猫の譲渡やTNR活動5年以上継続	有
本西裕美子	猫の譲渡やTNR活動5年以上継続	有
宇野映子	猫の譲渡やTNR活動5年以上継続	有
濱田久美	猫の譲渡やTNR活動5年以上継続	有
山岡美樹	猫の譲渡やTNR活動5年以上継続	有
10名を超える場合は、外 名としてください		外()名

8 受益者負担 事業の財源確保のため、可能な限り参加費や受講料などを徴収してください。

(1) 徴収する

(見込み：里親様より一律 7000 円ご寄付を頂き、飼養ボランティアに全額渡しています。)

(2) 徴収しない(理由：)

(様式第 1 及び第 2 の別紙 2)

収支予算書

1 収入の部

科目	内訳	金額(円) ²	積算根拠
受益者負担			
会費からの繰入			
その他		128,900	
市補助金		500,000	
収入合計		628,900	(支出合計と一致)

2 支出の部

科目	内訳	金額(円) ²	積算根拠
人件費(会員) ¹		62,400	@800×13回×6人
交通費(会員) ¹		0	
人件費(アルバイト等)			
謝金(講師等)	講師料	10,000	講演会開催
旅費交通費(講師等)		0	
消耗品費	キャリケース貸与用 ミルク 離乳食 体温計・体重計 カイロ シリンジ 北°-用紙・インク	17,500 126,000 70,000 50,000 7,000 15,000 10,000	@3,500×5個 @1,800×70個 @3,500×20ケース @5,000×10セット @700×10箱 2.5ml、5ml、10ml 譲渡会用
医療費		210,000	ウイルス検査代@2,200×50匹 検便代@500×200
印刷製本費			
通信運搬費			
保険料		1,000	イベント保険
使用料・賃借料			
外注費・委託費		50,000	チラシ制作 冊子作製(飼育～譲渡スケジュール)
対象経費計		628,900	

(様式第 1 及び第 2 の別紙 2)

食糧費			
人件費			
その他		0	
対象外経費計			
支出合計		628,900	(収入合計と一致)

1 : 会員に支払う人件費交通費は、協働事業部門のみ計上でき、その合算額は対象経費計の 1 割を上限とする。

2 : 金額欄は切り上げて千円単位で記入する。

組織運営体制

団体名	倉敷猫まもりの会
ふりがな	くらしきねこまもりのかい
法人格（ をつけて ください）	任意団体・NPO 法人・一般財団法人・一般社団法人・公益社団法人 公益財団法人・社会福祉法人・協同組合・その他 （ ）
CANPAN 登録の有 無	有 ・ 無

CANPAN: 日本財団及び特定非営利法人 CANPAN センターが運営する、市民・NPO・企業などの活動を支援する WEB サイト
以下の項目は、CANPAN に登録する情報と同等の内容です。登録済みの場合は、そちらを参照すると便利です。

1 組織体制

任意団体活動開始年月	2013 年 4 月（西暦）
法人格取得年月	年 月（西暦）
事務所 所在地	倉敷市玉島 3-20-8
代 表 者	職・氏名 代表 塩田 陽子
	電話番号 090 - 8600 - 4140 （連絡可能時間帯 全日 ）
ウェブサイト URL	https://ameblo.jp/haresoraame/
活動地域	倉敷市内
役員数・職員数計	8 名（役員 名, 職員 名）
設立年月	2013 年 4 月（西暦）
活動分野 （該当に をする） （複数回答可）	子ども・青少年・障がい者・高齢者・在日外国人・留学生・福祉・保健・医療・ 教育・学習支援・地域・まちづくり・文化・芸術の振興・スポーツの振興・ 環境・エコロジー・災害救援・地域安全・人権・平和・国際協力・国際交流・ 男女共同参画・IT の推進・科学技術の振興・経済活動の活性化・起業支援・ 就労支援・労働問題・消費者保護・市民活動団体の支援・観光・農山漁村・中山間・ 助成活動・食・産業、漁業、林業・行政監視・情報公開・行政への改策提言・ 学術研究・その他（ ）
活動目的 （規約等に定めるもの）	倉敷市保健所に収容された猫の保護、猫の里親探し等を目的とし また、TNR さくらねこ活動が本会の目的および活動となる。
設立以来の主な 活動実績	平成 25 年度より、本格的に倉敷市保健所の収容猫の保護活動を始め、 8 年間で約 1,300 匹の保護猫を譲渡している。 近年は、倉敷市保健所と連携し乳み子や子猫が収容された場合は連絡を

様式第 4 号

	<p>貰いメンバーで手分けをしてレスキューしている。</p> <p>また、一般の方からの保護依頼にも対応し、同時に親猫の TNR 等の手伝いや、飼育や避妊去勢の必要性等をお話ししております。</p> <p>当会では年間 12 回ほど譲渡会も開催し、保健所主催の譲渡会にもメンバーが参加し、里親様に適切な飼育等の話をさせていただきます。パネル展をはじめ啓蒙活動。</p>
<p>現在特に力を入れていること</p>	<p>ミルクボランティア、子猫預かりボランティアの育成、募集、譲渡時の、飼育指導。</p> <p>倉敷市保健所への持込ゼロを目指し、不幸な子猫が増えない為に里親様への、適切な飼育方法や避妊手術の必要性などの啓蒙活動に力を入れてます。</p>

2 団体概要と財政状況

<p>団体の活動・業務 (事業活動の概要)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・倉敷市保健所収容の猫のレスキュー ・譲渡会開催 ・TNR ・ボランティア育成講習会 ・保健所と協働でのセミナー
<p>今後の活動の方向性</p>	<p>ボランティアの人数をもう少し増やし、倉敷市の殺処分の数ゼロ、持込ゼロを目指します。</p>
<p>最新決算総額 (該当に をする)</p>	<p>100 万円未満・100～500 万円未満・500～1,000 万円未満・1,000～5,000 万円未満・5,000～1 億円未満・1～5 億円未満・5 億円以上</p>
<p>定期刊行物</p>	

3 活動概要と協働実績

<p>助成金・補助金等の支援を受けた実績</p>	<p>令和 2 年度倉敷市市民企画提案事業より採択され、50 万円補助金交付</p>
<p>他 NPO・市民活動団体との協働実績</p>	
<p>企業・団体との協働実績</p>	
<p>行政との協働実績(委託事業など)</p>	<p>倉敷市保健所動物管理係との連携で年間 150 匹前後のレスキュー (乳み子、子猫はほぼ全頭)</p>

様式第4号